

お知らせ

 岡山県立博物館	
担当者	松井・内池
電話番号	内線：5015 直通：086-272-1178

岡山県立博物館 令和7年度特別展 「花ござ 心おどる い草の世界」講演行事参加者募集中！

岡山県立博物館では、令和7年10月10日（金）より、令和7年度特別展「花ござ 心おどる い草の世界」を開催しています。

本展覧会の講演行事として、記念講演会及びフォーラムを開催します。現在、参加者を募集していますので、お知らせします。

記

- 1 開催日時 【記念講演会】 11月 1日（土） 午後1時30分～午後3時
【フォーラム】 11月16日（日） 午後1時15分～午後4時
- 2 講師 【記念講演会】「磯崎眠亀の“ゴザ”革命～錦莞蕙、花蕙産業を切り拓く
吉原 睦 氏（岡山商科大学経営学部 講師）
【フォーラム】「い草×花ござ 歴史/文化/職人技」
今石みぎわ 氏（東京文化財研究所 主任研究員）
小松原 貢 氏（岡山映像ライブラリーセンター 職員）
今吉 俊文 氏（倉敷いぐさ 今吉商店 5代目店主）
須浪 隆貴 氏（須浪亨商店、岡山県民藝協会 副会長）
- 3 定員 各120名（要事前申込、先着順）
- 4 場所 岡山県立博物館 講堂
- 5 参加費用 無料（別途、入館料が必要）
- 6 申込方法 「電子申請サービス」または「FAX」のいずれかの方法で、必要事項（氏名・ふりがな・住所・電話番号・参加行事（①11/1または②11/16）を記入して申し込む。
FAX：086-272-1150



電子申請サービス

- 7 その他 講演行事の他に、事前申込不要で、ワークショップや学芸員による展示解説、講師による織機の実演も開催します。詳細は、別添チラシをご覧ください。

令和7年度特別展

花ござ

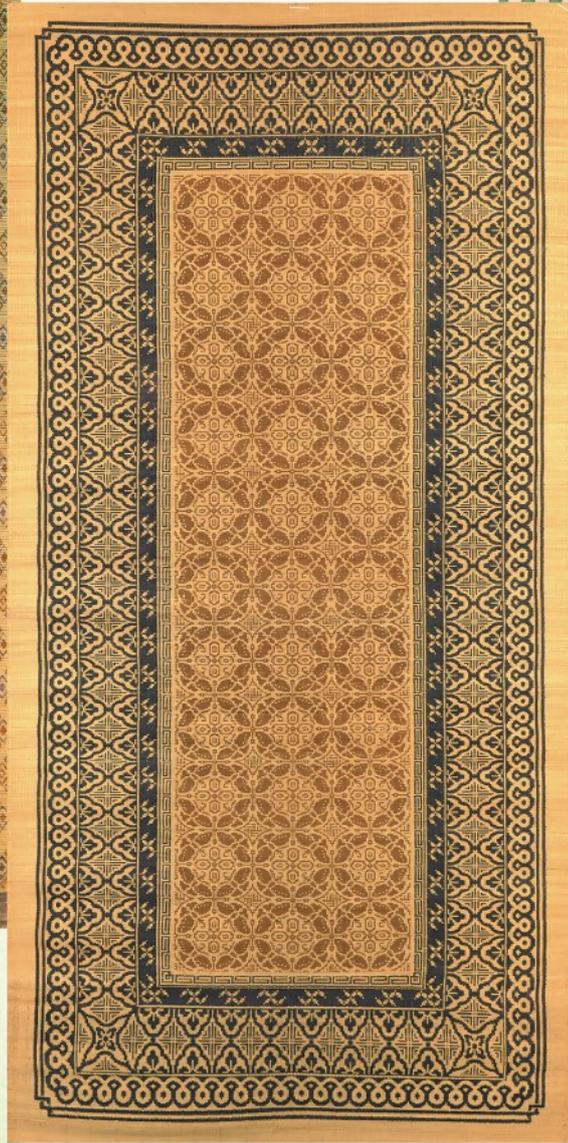
心おどる い草の世界

HANA GOZA

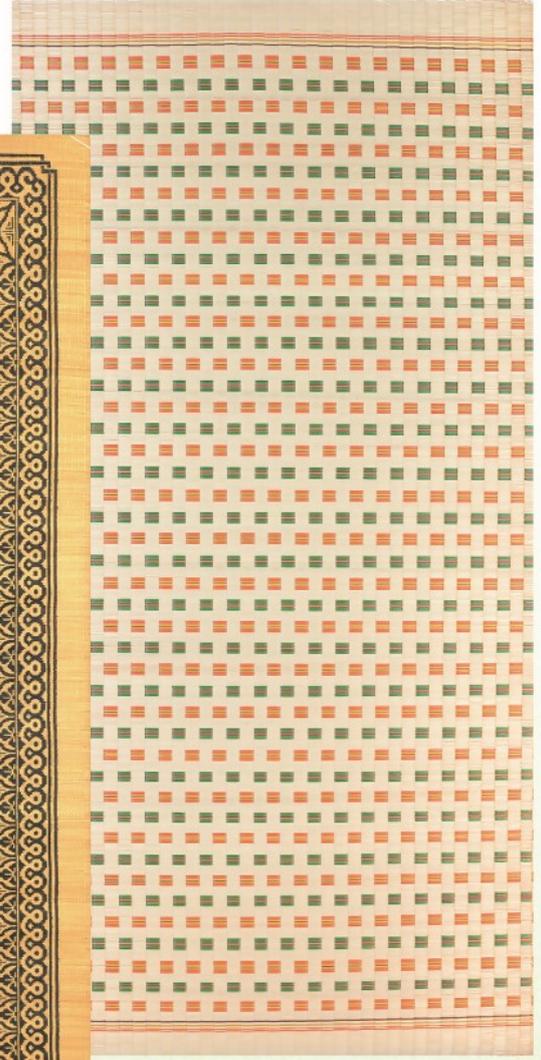
The Exciting World of Japanese Rush Rugs



捺染花菱 美人画(部分)
明治時代末期 早島町歴史民俗資料館



錦莞菱 黒花菱輪郭内部縹模様
明治29(1896)年 岡山県立博物館



花ひしろ 縞市松
(三宅松三商店製・芹沢銈介図案)
昭和時代 岡山県立博物館

2025
10.10 [金] - 11.23 [日]

開館時間 | 9:30-17:00 入館料 | 大人460円 65歳以上230円 高校生以下無料

休館日 | 10/14[火]・20[月]・27[月]、11/4[火]・10[月]・17[月]

※10/10[金]のみ10:00開館 ※10/15[水]・11/3[月・祝]は入館無料 ※会期中に一部展示替

主催 | 岡山県教育委員会、岡山県立博物館 共催 | 山陽新聞社、RSK山陽放送

後援 | OHK岡山放送、TSCテレビどとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、oniビジョン、

(公財)岡山県郷土文化財団、倉敷市教育委員会、早島町教育委員会

特別協力 | 磯崎眠亀顕彰会、岡山県民藝協会、早島町花ござ手織り技術保存会、備中西阿知花菱グループ



第9回岡山県農業祭ポスター(部分)
昭和35(1960)年 早島町教育委員会

令和7年度特別展

花ござ HANA GOZA

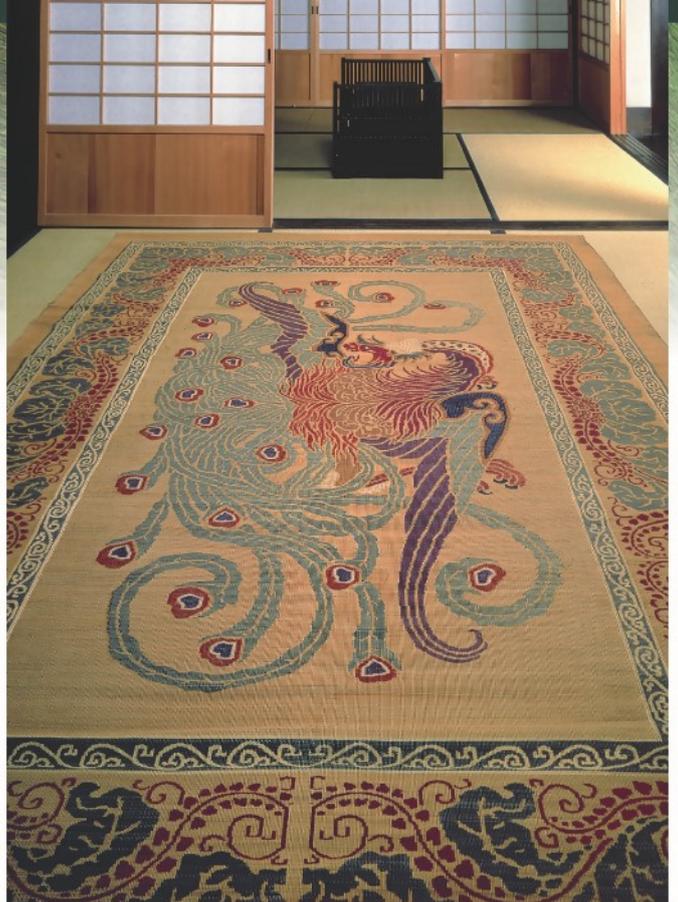
心おどる い草の世界 The Exciting World of Japanese Rush Rugs

花ござとは、い草を鮮やかに染めて製作した敷物です。岡山県では江戸時代から県南部に広がる干拓地を中心にい草の栽培や畳表の生産が盛んでしたが、明治時代になると花ござの生産と輸出で世界に名を馳せました。

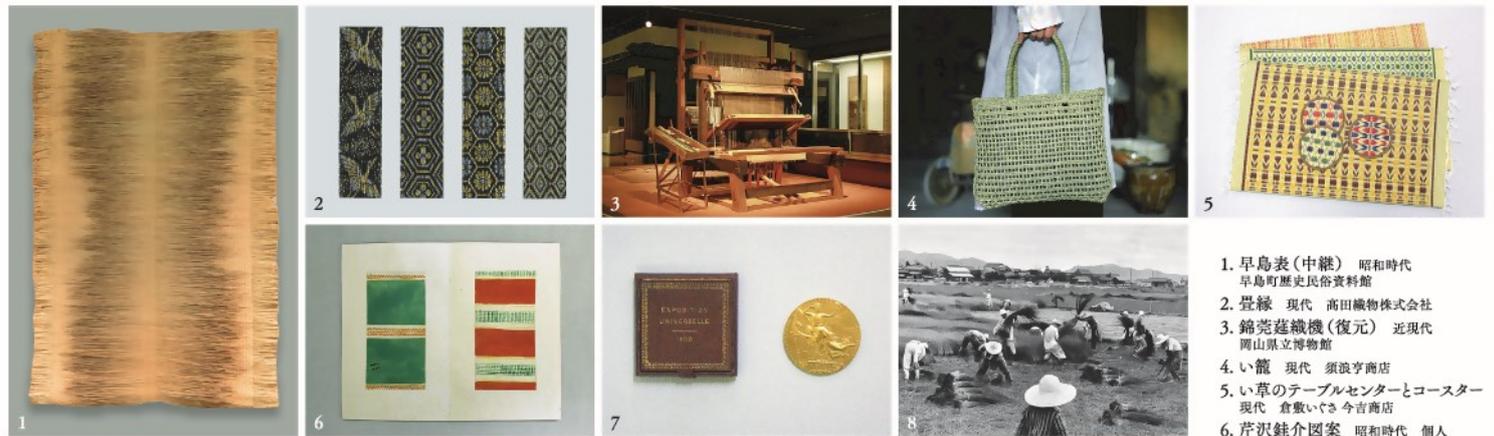
そのきっかけを作ったのが、倉敷市茶屋町出身の磯崎眠亀(1834-1908)です。眠亀は「錦莞菴」という緻密で美しいデザインの花ござを発明し、海外から高い評価を得ただけでなく、い草の画期的な染色法の考案により日本のい草加工技術の発展に大きな影響を与えました。

明治時代以降、重要な輸出品へと成長した花ござは国内向けにも販路が拡大し、昭和30年代には岡山県におけるい草の作付面積も全国1位となりました。しかし昭和40年代に入ると、い草農家を取り巻く様々な環境の変化により、花ござを含めたい草産業は急激に衰退します。現在も全国的にい草の生産量は減り続け、国産の花ござはわずかにしか織られていませんが、その伝統を残そうとする各産地では、今も岡山で培われた技術が息づいています。

そこで本展では、かつて岡山県が世界に誇り、身近な存在であった花ござを取り上げ、デザイン性に優れた魅力的な製品の数々とその製作技術をご紹介します。また、近世の畳表の流通、民藝運動との関わり、昭和時代の生産風景などを資料や映像によって紹介し、い草産業で活況を呈した岡山県の歴史を描きます。



錦莞菴 桐輪郭鳳凰模様 三畳敷(部分) 明治時代 川村越夫氏撮影 岡山県立博物館



1. 早鳥表(中継) 昭和時代 早鳥町歴史民俗資料館
2. 畳縁 現代 高田織物株式会社
3. 錦莞菴織機(復元) 近現代 岡山県立博物館
4. い籠 現代 須浪亨商店
5. い草のテーブルセンターとコースター 現代 倉敷いぐさ 今吉商店
6. 芹沢銈介図案 昭和時代 個人
7. パリ万国博覧会メダル 明治33(1900)年 岡山県立博物館
8. い草の刈取風景 昭和時代 山崎治雄氏撮影、岡山県立記録資料館

画像提供
2. 高田織物株式会社
4. 須浪亨商店
8. 岡山県記録資料館

関連イベント ※最新情報はHPをご覧ください。

●講演行事

①記念講演会

「磯崎眠亀の“ゴザ”革命〜錦莞菴、花菴産業を切り拓く」

11/1 [土] 13:30 - 15:00

講師：吉原睦氏(岡山商科大学経営学部 講師)

②フォーラム「い草×花ござ 歴史/文化/職人技」

11/16 [日] 13:15 - 16:00

「民具としてみるござ・むしろ」

講師：今石みぎわ氏(東京文化財研究所 主任研究員)

「昭和期のテレビ映像にみる岡山のい草産業」

講師：小松原真氏(岡山映像ライブラリーセンター 職員)

「花ござ産業の今昔」

講師：今吉俊文氏(倉敷いぐさ 今吉商店 5代目店主)

「民藝運動と花むしろ」

講師：須浪隆貴氏(須浪亨商店、岡山県民藝協会 副会長)

講演行事共通

場所：岡山県立博物館 1階講堂

定員：120人(要事前申込、先着順、聴講無料、入館料が必要)

申込方法：[岡山県電子申請サービス]または[FAX]

のいずれかの方法で、必要事項(氏名・ふりがな・住所・電話番号・参加行事(①11/1または②11/16))

を記入してお申し込みください。FAX 086-272-1150



●ワークショップ

①ミニ織機でい草を織ろう

～体験用のミニ織機を使ってい草を織ってみよう!～

10/12 [日] 講師：磯崎眠亀顕彰会

11/8 [土] 講師：早鳥町花ござ手織り技術保存会※

参加費：なし、コースターのプレゼントあり

②花ござ捺染体験

～型を使ってござに模様を染めよう!～

10/25 [土] 講師：有限会社カガワ※

参加費：800円

③畳縁で小物を作ろう

～畳縁を使ってくるみボタンやしおりに作ろう!～

11/2 [日] 協力：高田織物株式会社

参加費：100円(しおり)、200円(くるみボタン)

ワークショップ共通

時間：各日10:00 - 15:00 (12:00 - 13:00までを除く)

(随時受付、申込不要、入館料が別途必要)

場所：岡山県立博物館 2階ロビー

定員：先着100名(定員に達し次第終了)

※10/25 [土] および11/8 [土] は講師による

製作実演を随時行います。



■交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から

●徒歩(約25分)

●路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)

●バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば)

岡電バス【藤原団地行】(約20分)「後楽園前」下車すぐ

●お車で越しの場合

山陽道岡山インターより約15分(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)

岡山県立博物館 Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号
TEL 086-272-1149(代表) FAX 086-272-1150
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/



●展示解説&織機の実演

10/19(日)、11/9(日)、11/22(土)

時間：学芸員による展示解説 14:00 - 15:00 講師による織機の実演 15:00 - 16:30

講師：倉敷いぐさ 今吉商店(10/19・11/9)、早鳥町花ござ手織り技術保存会(11/22)

場所：岡山県立博物館2階展示室・ロビー 定員：なし(申込不要、聴講無料、入館料が必要)